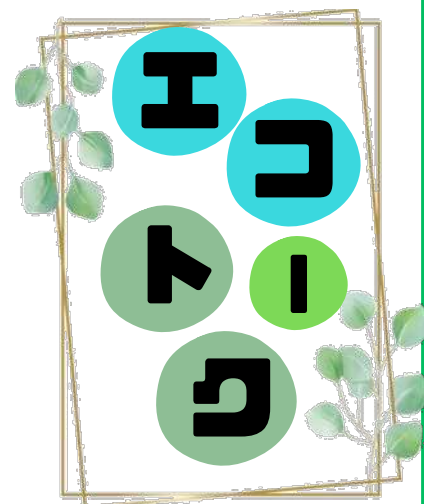


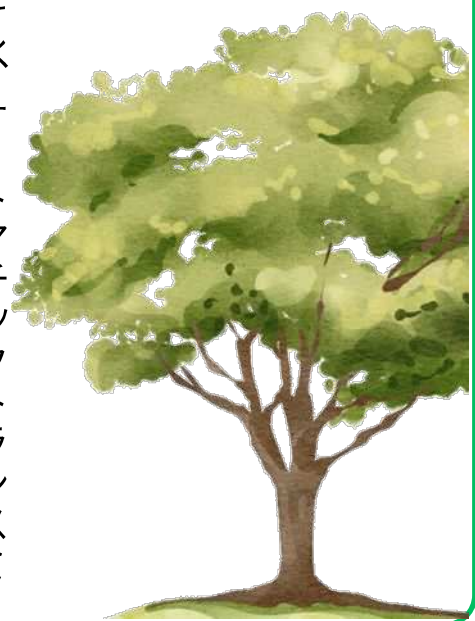
町 美 宇



(2023年広報3月号)

町にお住いの皆さんいかがお過ごしですか？この10年くらいは町でも桜の開花は早くなり、小中学校の入学式のころには散ってしまっていました。また、コロナ禍が世界中に蔓延し始めたところから、桜の開花が少し遅くなり4月の入学式シーズンに少し花がついている光景が見られます。今年の開花がどのようになるのか気になります。

今号では車の運転についてのお話です。30年前くらいからでしょうか車のエンジンへの燃料供給システムが大きく変化しました。それまではキャブレターと呼ばれていた燃料供給システムにより、燃料と空気を混合させ、エンジンに送り込んでいました。今では電子制御による燃料供給システムを採用している車がほとんどです。この電子制御燃料供給システムは燃料と空気の混合比率と供給量を瞬時に計算し、エンジンに燃料を送り込み、燃費向上に一大変化を起しました。このシステムの利点の一つにエンジンブレーキをかけたときには燃料の供給を止めるようになっていきます。



ただし、オートマチックトランスミッション装着車が90%以上の現代では、エンジンブレーキはかかりにくくなっていますが、アクセルを踏まなくていい時にマニュアルモードにするとエンジンブレーキはマニュアル車と同じ働きをしてくれます。このとき、燃料供給はカットされますので燃費向上が可能です。「そげなことばイチイチするとは面倒くさかー」などと思わないでください。燃料消費量の削減はCO2の削減につながります。その行いを見ている子供たちに、何をしているのかと聞かれたら、地球温暖化防止のためにCO2の排出量を減らしていると伝えてください。何のためか、これは50年後・100年後に生活している人たちのために今を生きる私たちが良いお手本を示していかなければならないと思うからです。

これからを創って行くのはわたしたちです。一人一人は微力であっても無力ではありません。良い影響も、悪しき影響も後になるほど大きくなります。

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆